

碧南市棚尾地区都市再生整備計画事業評価委員会

議事録

日 時	平成30年1月31日(水) 14時00分～15時50分	
場 所	碧南市役所 談話室2	
出席者 ■出席 □欠席	委 員	<ul style="list-style-type: none"> ■千頭聡委員(委員長) ■鈴木並生委員 ■小野博之委員 ■大竹密貴委員 ■原田亜衣委員 ■金原功委員
	事務局	<ul style="list-style-type: none"> ■禰宜田市長 ■中村建設部長 ■亀島都市計画課長 ■野本都市計画課主幹 ■石川計画推進係長 ■中川計画推進係主査 ■宮田計画推進係技師 ■コンサルタント(3名)
次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 市長あいさつ 3. 委嘱状の交付 4. 委員紹介 5. 委員長選出 6. 議事 <ol style="list-style-type: none"> 1) 都市再生整備計画事業制度の概要 2) 「事後評価方法書」に基づく事後評価結果 3) 今後のまちづくり方策にかかる検討結果 7. その他 	
1. 開会	・開会あいさつ	
2. 市長あいさつ	・禰宜田市長によるあいさつ。(あいさつ後、退席)	
3. 委嘱状の交付	・あらかじめ机上配布により各委員にご確認をいただく。	
4. 委員紹介	<ul style="list-style-type: none"> ・委員名簿順に事務局より委員の名前を読み上げて紹介。 ・事務局の紹介。 	
5. 委員長選出	<ul style="list-style-type: none"> ・「碧南市棚尾地区都市再生整備計画事業評価委員会設置要領」第6条の規定に基づき、委員長は“委員会において互選する”こととなっている。 ・金原委員より、事務局案提示の要望あり。事務局案として、日本福祉大学国際福祉開発学部教授の千頭委員を推薦。各委員に了承され、委員長を千頭委員に願います。 	
6. 議事		
議事1)	<ol style="list-style-type: none"> 1) 都市再生整備計画事業制度の概要 「資料2. 碧南市棚尾地区都市再生整備計画事業評価委員会説明資料」に基づきながらパワーポイントを用いて、都市再生整備計画事業制度の概要及び事業概要について、事務局より説明を行った。	

	【質疑応答】
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 柵尾地区のことなのに、委員の中に柵尾地区の人がいないということについてどうかなと感じるところがある。 ・ 今回の事業が、特に碧南レールパークに予算を使っているかと思うが、柵尾地区の活性化などに、どう結びついているのかということに疑問がある。道路の整備についても、道路幅は変わらずに色を塗っただけということで安全になるのかなというところにも疑問を感じる。 ・ 国の補助金を受けてやっている事業であるため、なんらかの評価をして、提出しなければいけないということであれば、評価の結果はこれで良いと思う。実際、これからどういうふうを活用していくかについては、評価が良かったからおしまいということではなくて、課題はまだまだ解決されていないのではないかなという感じを受ける。 ・ 特に毘沙門通りについては、たしかにきれいにはなったが、現実にそれが安全に結びつくかということ、課題であり、これからもある程度整備をしていく方向でいけないかなと思う。 ・ 碧南レールパークについても、安全で駅へ行くときや健康のためには良い道であると思うが、駅から源氏橋までの区間は未整備であり、ここに名鉄の線路があったんですよということを後世までに伝えるためには、何らかの整備をした方が良いと考えている。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地元の声ということでは、アンケートを取っていると思うが、それについて、補足説明をしていただきたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「参考資料4. 柵尾地区のまちづくりに関するアンケート調査結果報告書」に基づいて、結果の概要を説明。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業自体は非常に良いと思う。堀川沿いもきれいに整備されて、そのあたりに住んでいる人にとっては良いものが出来たと思う。 ・ 碧南レールパークも併せて評価するが、柵尾地区のこれからの活性化とか地区の再生につなげていくためには、商工課などと連携をとって、活用していかないといけないと思う。 ・ 碧南市でいうと毘沙門さんという大きな核があるので、それをいかに活用して地域を活性化させていくかを考えながら、そこを上手に活用して、何回か活性化を図る事業をやっていくことだと思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 碧南レールパークについては、車と歩行者ではどちらが優先なのかが分からないところがある。 ・ 青いペイントで塗装され、歩行者が止まって、安全を確認しないとイケないと思うが、ペイントがしてあることによって、歩行者が優先かなと勘違いしてもいけないと思う。横断歩道がある箇所については信号が近いので、信号待ちをしている車は、ほぼレールパークのところでは止まってくれない。位置的には仕方ないため、歩行者へ注意喚起するなどの方策が必要だと思う。

委員	<ul style="list-style-type: none"> ・都市整備計画の目標として、一つ目は安全、安心。それから二つ目は自然とか水辺。三つ目は歴史、文化とかの資源を活かすことを挙げているが、達吉の小径や堀川沿いもきれいになり、レールパークも利用している人が多く、良い環境ができたと思う。 ・計画したことに対しては、ある程度評価もされているが、毘沙門通りが安全か安全じゃないかという、安全ではまだまだ無いなと思う。防災面では達吉の小径のあたりも本当に細いので、まだまだやらなければいけないかなと思う。 ・自分たちが掲げた目標に対しては達成ができていているように思う。そこに住んでいる人にとって、必要なかどうかというところについては、どのあたりまで意見を聞かれて目標を作ったのかと少し疑問に思うところもある。 ・整備されて立派になったとして、そこに住む方が減らずに、そこで暮らしていけるということが必要だと思う。経済的なものも含めた計画的な都市計画というものをもう少し進めていただければと思う。商店街のところも併せて、もう少し計画に盛り込み、この都市計画によって、まちが行政や補助金を使いながら、自発的に動いていけるところまでいくと良いと思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・国の補助金を使ったとのことだが、予定どおり終了したのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・事業費に対して40%の補助金がもらえる事業であり、予定どおり5年間で40%もらっている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・計画どおり進んだが、目標を達成していない数字もあるということか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・指標の数値については、3月までは事業期間中なので、推計値としている。来年度にフォローアップということで、同じようなアンケートをとり、計算して確定値というものを定め、そこでもまだ未達成ということであれば、数値が向上するような策を、こちらの方で考えていく。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・評価の仕方については特に意見はないが、指標について、この数字が来年になったら上がるとはとても思えない。フォローアップの結果を受けて今後何か指標が上がるような施策を位置づけてもらえれば良いのではないかなと思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・棚尾地区の方、500名にアンケートを取ったとのことだが、それ以外の方々はどう思われているのかなと思った。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・棚尾地区以外の方については、そもそも利用されているのかも含めて、今回は特にアンケートは取っていないということになっている。
議事 2)	<p>2) 「事後評価方法書」に基づく事後評価結果 「資料2. 碧南市棚尾地区都市再生整備計画事業評価委員会説明資料」に基づきながらパワーポイントを用いて、「事後評価方法書」に基づく事後評価結果について、事務局より説明を行った。</p>
	<p>【質疑応答】</p>

委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・指標1の④、毘沙門通りの歩行者数が、やや下降傾向ということだが、碧南レールパークを持って、毘沙門通りの歩行者数を上げるということは、なかなか難しいことだと思う。毘沙門通りというのは、駅に行くために通るとか、どういう目的で歩く人が多いのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・商店街ということもあるので買い物ということもあると思うが、主には通勤、通学をされる方が多いかと思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・この交通量を調べたのはいつ頃か。ひとつは5年前ということだが、毘沙門さんのお祭り以外では、もともと歩行者が多い道路ではないと思う。この指標を出すための調査として、1日だけやったのか、そのあたりでこの数字は変わってくると思う。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・従前の時は3月の平日に調査を行った。今回の調査は5月の平日ということで、両調査ともに調査日数は1日とした。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・もともと歩行者が少ないところなので、みんな車がほとんどということもあり、指標自体がそぐわないとも思う。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・毘沙門通りについては、歩行空間を確保しようということで、道路の全幅員は変わらないが、車線の構成を変えて、車が通る車線を少し狭くして、その分路肩を広くして、さらに路肩部分は脱色アスファルトで舗装することで、歩行者との分離がより図られるように整備したため、整備後、どうなるのかを計測するため、このような指標を用いた。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・この指標は変えられないというのは構わないが、従前では3月に1回、今回は5月に1回と、1回だけの比較を持って評価が未達成というところに少し疑問があり、これだけの比較だけで未達成というのは、本当にいいのかと思う。事前に決めたことなので、これで国に報告するのはいいが、そのあたりがなんとなく違和感がある。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・これで安全かという、あの幅では人が歩いているときに、対面では車道へはみ出ないといけないし、ただ、色を塗ったというだけで安全になったとは言えない。ただ、きれいにはなったということはあると思う。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・今の歩道整備については、最終的には歩道をつけるのが最良だと思うが、ただ、この5年間の中で安全を確保するために何をやっていこうかということでやらせていただいた。それに対して歩行者は当然増やすということでない、この整備は何の目的も無くなってしまわないので、指標とさせていただいている。1日だけで比較することについては、事務局としてもあまり良くないと思うので、来年度のフォローアップの時には、そのあたりを考慮してやっていこうと考えている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・達吉の小径を通るように誘導するといいかもかもしれないが、あの道は断面形状的にV字型になっているので、歩きにくいとか、自転車なども真ん中を走ればいいのだが、人とすれ違う時には傾斜がついているので危ないし、車いすなども傾斜がついているので難しいかもしれない。ちゃんと整備されれば、あそこなら車も来ないし、安全に人も通れるので、もう少しあそこに誘導していくといいと思う。

委員	<ul style="list-style-type: none"> ・都市整備を進めていく上では、やはり地元住民の気持ちが大重要だと思う。地元を大切に、いろんなことを勉強しながら、よりよい活動が続けていくことが大切なことだと思うので、まちづくり活動などは引き続き行っていくことが重要だと思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・大浜地区でも環境整備が行われたが、年2回のてらまちウォーキングは賑わうが、それ以外は少ない。どんどん商店が減っているし、いろんなところに空き家が増えてきており、商店街の活性化にはつながらなかったと思う。棚尾地区はそうなる前に、商店が活発になって活性化されるように、地域の人たちがもっと頑張ってもらいたいような、そういうふうにしていく形にする方が一番活性化できるのではないかなと感じている。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・大浜については、最近、美術館もあり、てらまちということで割と来訪者は増えてきている。一般的な商店はなかなか増えていないが、飲食系が2軒新しく出来たということもあり、そういった意味では活性化につながっているのかなと考えている。今回、隣の地区である棚尾地区でもこういったことを行っているのだから、今後、そのあたりがうまく連携が出来て、全体としてにぎわいができるようなふうにしていきたいと考えている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・効果発現要因について、指標1の防災訓練の参加が促進されたとあるが、棚尾地区の状況を見てみるとそうじゃないと感じる。ルールパークなどを整備したから、防災訓練への参加も促進されたという表現は少し違うかなと思う。横断道路ができたことにより分断が解消されたとかはあると思うが、防災訓練への参加の促進につなげるのはどうかと思う。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・横断道路が今回出来て、それについてはよかったという感じもあるので、文章的には満足度が向上したということが語尾になった方が良いと思う。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・棚尾地区以外の方がどう感じているかということについては、総合計画などで定期的にアンケートとかを取ったりしていると思うが、また別途聞く機会があるのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年度、市政アンケートをやっており、その中でまちづくりの取組みに対する満足度を聞く項目もあるので、そのあたりでどう上がったのかということも計れるかと思う。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・場合によっては、そこに来年度はこの事業のことを質問項目のひとつとして、可能なら付け加えてみるといったことも考えてみたらいいかもしれない。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・評価方法としてはどうか。評価委員会の場で事業の中身というよりは評価の方法を審議するという事になっているが、事後評価方法書に基づいて、適正に評価されたとしてよいか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・異議なし
議事 3)	<p>3) 今後のまちづくり方策にかかる検討結果</p> <p>「資料2. 碧南市棚尾地区都市再生整備計画事業評価委員会説明資料」に基づきながらパワーポイントを用いて、今後のまちづくり方策にかかる検討結果について、事務局より説明を行った。</p>

	【質疑応答】
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・今後のまちづくりの方策とあるが、例えば、碧南駅から源氏橋までのところが全く整備されていないという話もあるように、都市再生整備計画のエリア内に限っての事を指すのか、それとも、そうではないのかどちらか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・あくまでも棚尾地区の都市再生整備計画ということで、棚尾地区のことをご議論いただきたい。計画の範囲としては195haという範囲を指定している。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・碧南駅から源氏橋までのところが範囲に入っているのならば、残された課題について、鉄道跡地のところでは、「なし」ではなく、課題は残っていると思う。入口の部分と最後の矢作川のところの調整区域の部分も廃線敷きなので、そのあたりもとらえるのかどうかということを少し思った。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・碧南駅のあたりはエリア内であるが、舟江町の矢作川までいくところについては、エリアには入っていない。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・碧南駅のところと最後の矢作川のところについては、やはり碧南レールパークという限りはひとつとして捉えて、課題として「なし」では全部終わってしまう。パブリックコメントでも意見が出ているが、碧南レールパークの一環だというように位置づけておくのか、おかないのかをはっきりしてほしいと思う。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・パブリックコメントの意見については、市の開発公社が持っている土地について、どういう活用をしていこうかという方針を、今年度資産活用課が中心となって進めており、来年度以降、具体的にどういうふうにしていくかを詰めていく形になる。最終的には市でどうしていくかという判断になるので、この場でこういう意見が出たということをしっかり伝えながら、結論を出していきたいと考えている。評価の書き方については、書ける範囲で残していくのも大事かと思うので、一度検討させていただきたいと思う。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・課題としてはあるはずだということで、どういうふうにするかは行政の判断にまかせます。矢作川の方については計画区域外なので、書きぶりもさらに変わるとは思うが、将来への課題ということで整理していただきたいと思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・狭隘道路の解消というのが出ているが、空き家対策も含めて、出来るのかなと思っている。課題として今から解決を図っていくのか、特に大浜もそうだが、緊急自動車も入れないようなところもあって、具体的にどのようにやっていくのかもがあるが、課題としては今後の方策として、解消を目指してぜひやっていただきたいと思う。

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・狭隘道路については、当初、棚尾地区をモデルケースとしてやっていこうということで、この中に入れてあった。現在、碧南市のやり方としては、セットバック用地ということで、センターから2mまでのセットバック用地については、一部、買えるところは買っていこうというもの、そのためには用地測量が必要になってくるので、それは今まで本人の負担でやっていただいていたものを市のお金でやっていくというような形に変えてきた経緯がある。これについてはすでにそういった事業を決めているので、これを活用していくという形になると思う。 ・すぐにやれるかというのは、なかなか家がどんどん建て替わるわけではないので、そういった時にはみんな順番に控えていけば、車が通行できるようになる。道路が広がるということで、長い目で見てやっていくしかないと考えている。 ・空き家についても、空家特別措置法が正式に施行されましたので、それに基づいて、今年度、委員会を立ち上げて、対策を練っている。最終的には本当に危ないような建物については除却なり、建て替えなどを促進していくように、制度を設けて来年度からやっていく予定としている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・狭いところだが、ポツポツと家を作っている方も見えるので、新しく出来てしまうとそこは広がらないのではないかと思う。棚尾の中を見ると、建売なんか建っているところもあるし、車が停められなくても遠くへ停めて歩いて帰ってくるといったような感じになっているため、あとの対策が困難になってしまうのではないかと思う。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・なかなか、新規の道路をつくるという対策は難しいと思うが、昔は家を建てて、そのあとにブロック塀を造ったりして、道路幅が無くなるということがあったが、最近は既存の道路の拡幅ということで、確認申請もしっかりやっているの、新築の時でも控えてもらっているという状況である。土木課の方でも、ぜひそのあたりをアピールしてくださいという形をとっている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・安全安心と歴史文化についてですが、狭隘道路は解消したいけれども、達吉の小径などを拓けてしまうと意味が無くなってしまおうと思うが、住んでいる人から言わせると、壊して建て直し、残せと言われれば残さないといけないといったように、すごく大事なことだと思いますので、ある程度おおまかなプランがないと、みんな出て行ってしまうとか、そこに住みたくなくなってしまうので、考えていただけるといいのかなと思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・道路幅の関係で家が建てられないということもあるので、市がその道路を建築基準に則って認めるか認めないかだと思う。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・達吉の小径は「2項道路」といって、セットバックをする必要がある道路になっている。

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・建て替えの時にはというところもあるが、達吉の小径については、少し景観に配慮して建ててくださいねということにはなるとは思う。しかし、なかなか行政の方から強制的に言えるものでもないの、地区として、まちづくりの中でそういったルールができてくるといいのかなと思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・そのあたりについては、やはり皆で一生懸命考えないとダメだと思うが、馬籠や妻籠などは、あのまま残ったのではなくて、行政と市民が一緒になって、昔のまちを作るぞという気持ちからきていて、そのことについても個人の土地にまでなかなか言えないのかもしれないが、十分話をしていけないといけないと思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・藤井達吉の生家のところに、達吉の生家という小さな看板が立っているが、ああいうところを市が買って、あそこへ古いものを再現して建てるということもひとつのまちとしての資源になるし、せっかく達吉の美術館もあることなので、どういう人が住んでいるかわかりませんが、市で買われて再現したらどうか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・この場で即答することは難しい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・あそこが整備されれば、たしかに観光名所になる。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ちょうど、毘沙門さんへ行く途中に建っているの、美術館に来た人も歩いてくるかもしれない。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・当時の生家は残っていない。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・住民参加のプロセスと書いてあるが、棚尾地区の町内会への加入率は67%と碧南市の中で一番低くなっており、3割以上の方が町内会に入っていない状況で、不便だからみんな出て行ってしまおうのか、高齢者ばかりになってしまっ町内会に入らないのか、そんなに多くは無いが、アパートなんか建って町内会に入る人が少ないのか、どういう理由かは分からないが、住民参加という以前の問題があり、町内会に入らない人間がまちづくりに参加するわけがないという、そういう認識だけはおさえておいてほしいと思う。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり推進委員会という団体については事業の間は、うまく機能したということによいか。また、事業が終わった後でも、行政としての支援などは考えているか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントだとか、そういうことについてはまたやっていくかと思うが、今のところは引き続き支援させていただこうかと思っている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもを公園に連れて行って思うことは、兄弟が何人かいると、ひとりがトイレに行って、ひとりを遊ばせておくと、目を離さないといけないことがあり、遊具の近くにトイレが、目の届く範囲であると安全かなと思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・レールパークは全体的に暗いイメージがあるのでもう少し明るいと思う。夜歩いていると月夜の時はいいが、近くまで近づかないと向うの方から人が来ても顔なんか全然分からないため、街灯なんかもう少しあるといいと思う。

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・今までは線路であったため、どちらかというところ周りの家からは裏になるので、裏にも人が通るようになると、暗いところを急に明るくするとあまりよくないということもある。ただ、今後、もう少し明るくしてほしいという意見が多ければ、少し街灯を増やすとか、そういうこともしていかなければいけないとは思っている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・歩く人の安全配慮というのか、注意喚起を標識か下にペイントするなど、歩行者が止まるように安全確認を徹底された方がいいと思う。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・地元からも同じような意見をもっており、先ほど言われた歩行者優先なのか、車が優先なのか、難しいところはあるが、緑色で着色することで、車の方も注意してくれるだろうし、歩行者の側には車止めはあるけれど、止まれという標示で、しっかり止まっていただくという意識を持っていただきたいと思う。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘いただいた課題は今回の事業だけで解決できるものではないと思うが、まちづくり全体でやっていくということで、今回の事業に係るものということであれば、最終的にはフォローアップでアンケートを取るという形になると思うが、今後のまちづくり方策についての妥当性ということではどうか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・特に意見なし
7. その他	<ul style="list-style-type: none"> ・その他ということで、今後のスケジュールについて、事務局より説明を行った。

以上